

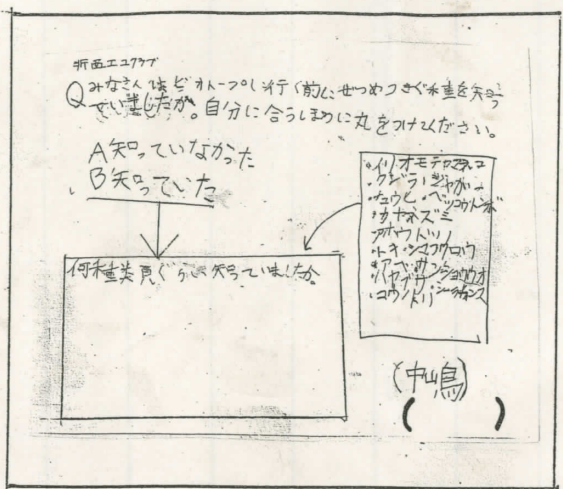
せつめつきぐ種は大切に

へ調べた目的

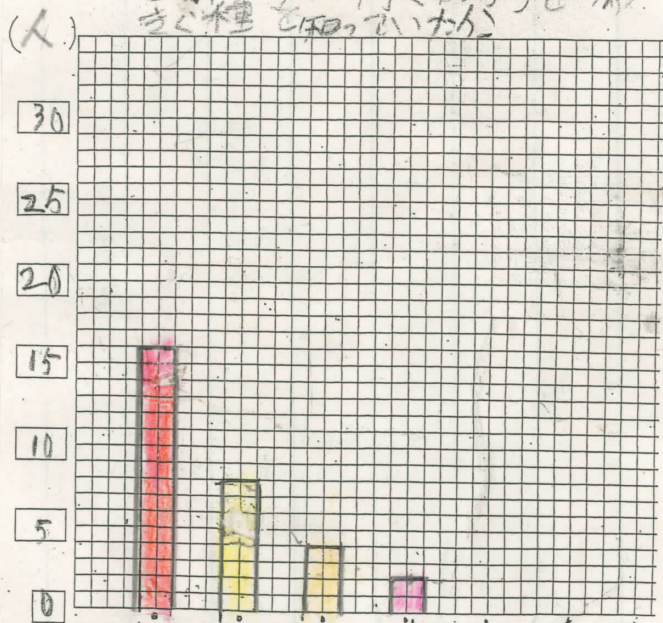
みなさんは、エゴをしていますか。ぼくたちは、折西エゴクラブです。ぼくはエゴクラブでエゴの大切さが分かるようになりました。ぼくたちは、自然のエゴをしたいと思います。サリガ、サゴ、カメ、小さな田んぼ、ツレイシなどを育てたり、おちりしています。そう、ラ自然を守るのはどうしたらいいでしょう。そこでぼくは調べました。

調べた方法

ビオトープに行く前にせつめつきぐ種を知っていたが、エゴス三十人にアンケートしてみました。



せつめつきぐ種を知っている人



知らない人
種類5種類以上
種類9種類以上
種類10種類以上

調べた結果

- ① 田んぼがかったのは知らない人である。
- ② 田んぼがかったのは十種類以上ということがある。
- ③ 種類から五種類以上の人がよく知っていた。
- ④ 六種類以上から九種類以上の人はワジラ、カヤ、ネズミをよく知っていた。
- ⑤ 十種類以上の人はアベサンショウオ以外全部知っていた。

結果から考えたこと

① かなり考えたことは、ワスの半分以上はビオトに行く前には知っていたことが分かりました。みんなは、ビオトまで行く前は、知っていたので、知っでほしいと思いました。

② からは、十種以上知っている人が、米田少ただったので、もうちよと知ってほしいです。

③ からは、一種から五種類の人は、イリオモテヤマトコ、ワジラをよく知っていたのは、イリオモテヤマトコとワジラは、よくテレビなどで放送されているのと考えました。

④ からは、五種類から九種類の人は、ワジラ、カヤネズミをよく知っている人がたくさん知っていたのは、ビオトのはワジラを見たり、テレビを見たのを考えました。
⑤ からは、十種類以上の人は、アベサンショウオ以外全部知っていたのでおどろきました。

今後のこと

① ぼくは、ワスの半分以上が知らなかったで、知っている人が少しでもみんな世界中の知らない人に少しでもせつめふさぐ種を広げると、自然を守ることにつながります。これから、みんなにせつめふさぐ種を守っていきたいと思います。
② 知らない人や、自然を守って行きたいです。